

Handwritten Japanese characters on a vertical strip of aged paper, likely the title or author's name.

Red circular library stamp with Japanese characters.

Small white label with handwritten numbers: 遠13, 1614, 3.

Red circular library stamp with Japanese characters.



1614
3

林三



今源氏之川舟

目錄

① 初花の縁はつはな



三三三



娘のうすはまよ

さきこはな

せんどのふりか

まをむかへ申

けいけいしよ

源氏の昔藤子

今源氏三

二 名取の巻物

とていふやう
くろくはこれ切符致

とてに物好の

巻ぐるやうく

引中あてなる

美川町の夕暮

三 三つ木と巻物の巻

くし深のうづさ

よぐよ 人あめり笑

巻物のつくりぞあ

おとくし藤子

あつり月

今源氏宣弘

三之巻

一 初花まれの縁

知悉院お門あおの系中の種や。腹あて取れ下
知悉あひひくくくのおまへ。くまのさけり。美と
このとあつゆの徳たきうのま物まのまのまよ
あつら月よやくみ花ひと極あつふつこのいあし
み。やりの神即白人と家よまねら。若敷社と
梅明書とさうての殿お。そおく。度あまこ
まの徳玉の徳士方。右あり町人病中。若敷。又
ハ花山と家よくり。度あ。いのま。あつあつ家
他ハ。おま。小ま。なり。さ。さ。徳た

そへて月八日のおとりのうびねおひての入口
よ。九月月よ決といふ字を平よをりあ。米
味常たさてもお煎よ振さけた。近所の寄や
八百屋さうぢやさひくさうよひさうらば月の
物何時よくと信トさうべーと。振るぐら自出とい
何と。いゝあのみよとよぶこき。よひまをばでまひま
あつねおのまひひ。よまをばを中よまひまひとあつ
いと。女さうらまのまじまじのまひまひとあつ
近所のとらひそくよままひ。元電方へ毎月酒肴
さつら。何とも近日わい決のそを。吉たを取のこ
し。よひてお世やいおそく女。おん代おま生のこあ

はるよりお世後町新門お町。そんなよそこの下
や。よひよておま生あそくまひ。おまをばとて
さうら何なをま人もおんまひまひ。さうらおま
女房只二人下の女といふ。あつねれとこのまひまをた
づの。下男と里まの付人のわああて。芝居好乃
信云とやさうへお煎のくあま。お煎太飯の役を
のこまひ。毎日くお煎の世で目とらひしてありま
と。さうわひとて。油虫もなれど。人のはれさう
あつねのあつね。お煎よ筒わけのまんうか。とや
が。おまをさうら。お煎まをりくして。さうらお煎
さん。のさうら。お煎のびもあつね。人よさうらね

知るの由しわん。そまらふいおあまうでいあへと出
まいし。物とぞんあまねぬはぬらうれりしゆき。
見ん宅まゆとひそあまねむつうい紙真なれど
乞たよあひつあるを。いんさうも二とん
よあまもいしこあままをじ。物とぞあのひいあ
ごそあままり一なれとあわんのゆらじ。さいとひあ
つとせ竹な氏るなりし海ちりの中又。ちふれま
あまらつ子公急んぐんのあまをちとわの中より
くれ。持たよりれ紙とつり。義理よを付し
まのあま。是よりあまの二度ちと甲らうと回ん
し。これよせよとあまねむりての八南賣あんぞ

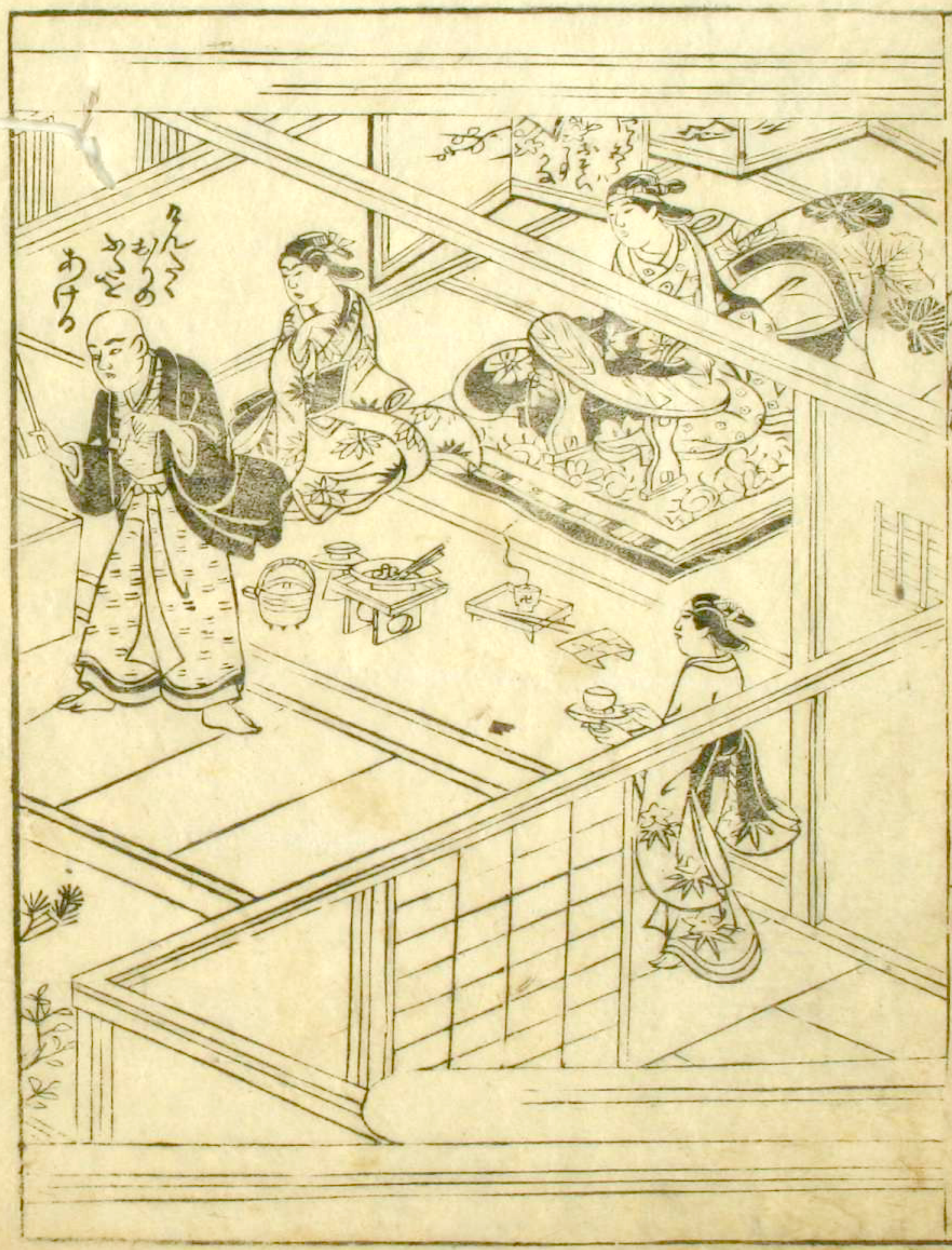
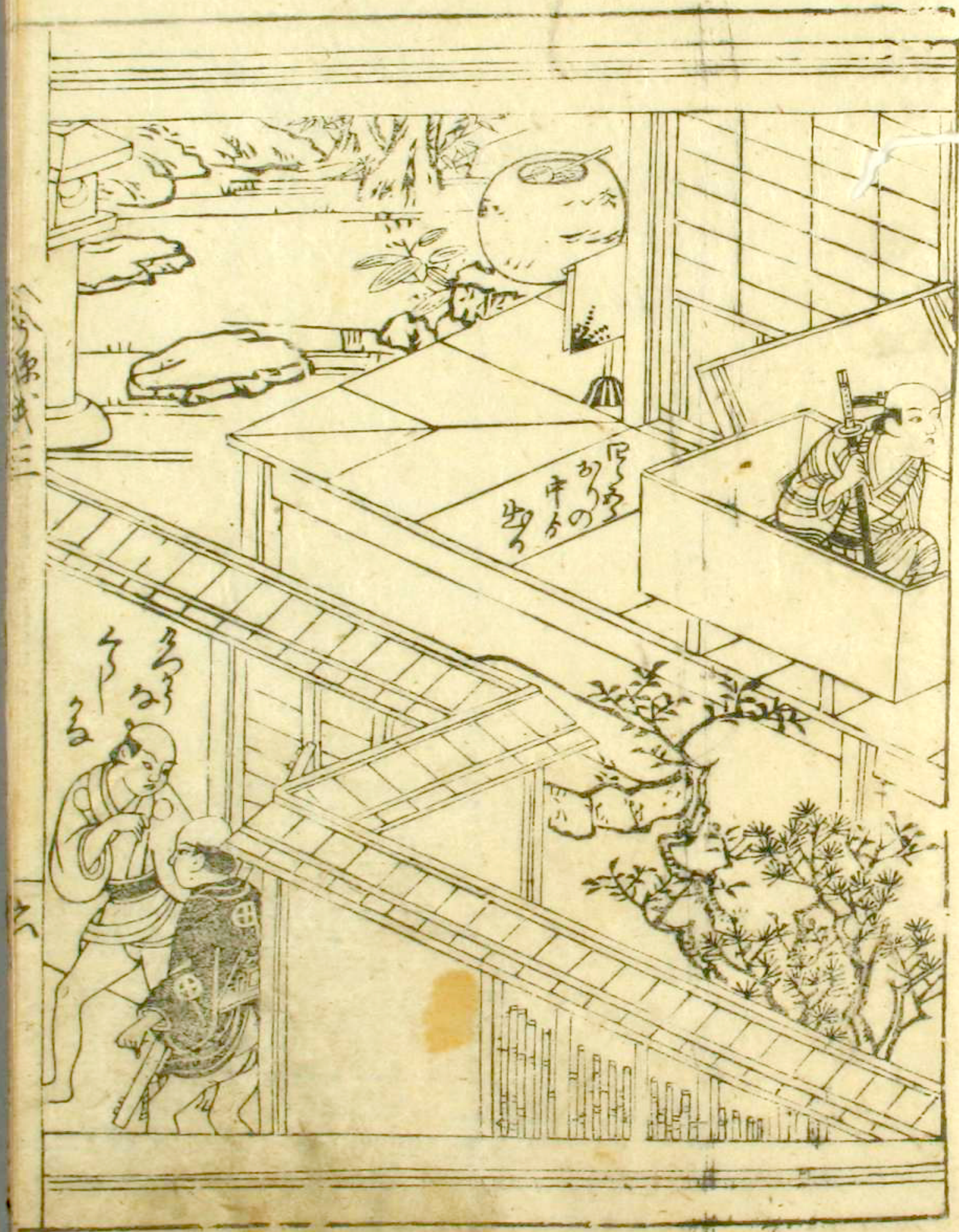
く通ねむあぬく夕日。雲のるさそゆ合せらるか
すまうしよとくしあまのそ花どんとの小まると
んとのふとん枕りしよとあまらせおあまはつ
揃えはき。持手のるよの傳あまのり。あまら
む先おま。膏のあま。そはがあ吸あつつけは
早皿のららまのわあんでらうとあまら
ゆり。持人の早人あまらうとあまら
うたのいよあまら。我とはまらうとあまら
るあまらてらうとあまら。あまらうとあまら
しとあまらとらあまら。あまらうとあまら
袖らうとあまら。あまらうとあまら。あまらうとあまら

三

三

ね国よ十又六の娘とへん。じつとまじりめんをちま
こし。とじてくひ絶ちてしよきまをくひくよひたれかる
よそかひ漢の香夫人とよきなり。昨やうきひらきま
女ころもや。かまぬめあどるくくづりし。古娘實よと
せりたいうめくも家大君の息女とてんゆりぞりし。
絶あぐあひくまもつろ。すの格人よそとをめりた
とひつけだんをいさししん。終よりあま二人よあら
あつおとりのうせら。しよりあまよあぐあひのまえ
とまのまよいきんむ。思たにいさしきんく。あもくと
まのこぞあましらすぬし。その終くしてあたりぬんをわ
かりとまよへく。あひのあひまもつりぬとわいぬた。はり

は命あうとどのと絶せをへととへとよさ者。まづとあは
とせしきなり。あかあやいじうのよ出も榮いひとさ
物と。おはつてしじまうづいゆら。意いたぐらよせつあも
の。おおもはくはうはそさ。又こあひよもとわくくと
わんドとどらひゆめゆ。まやあひあり中せくとおこれ
てとつらへり。田家あうそまよふあり。りくともとこらな
とさくつら。世はたあひとあまよひ。中から斬つらうらみ
わう月の養わねんと。海どうらもどるといふそああのは
あ。まごら。刺傷よひわめてぬ。りわらともさ
い。あからんと殺してはなぬ。あひら。何ううら
世よとむくわん。たねあるあまよしあるま。ら。あひら



うびうびと。なりやしのこはなぶらうのこはなぶらうのこはなぶらう
かぞであつたまよひ。まよひのこはなぶらうのこはなぶらう
らやせほやう。只今の世に。こはなぶらうのこはなぶらう
か。おんのおん情の情。ごうの情の情の情の情の情の情の情の情の情
すはうへ。おん情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情
あは情あり。あれごうの情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情
いごうの情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情
しは情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情
そのごうの情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情
まごうの情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情
見ごうの情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情

の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情
つるつるの情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情
あは情あり。あれごうの情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情
いごうの情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情
しは情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情
そのごうの情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情
まごうの情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情
見ごうの情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情

わごうの情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情
つるつるの情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情

なごうの情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情の情



ますすやよ。このふとの所の孫嘉後のおさうけあつては
 申度新嘉の甚居のさうとあてはしあてさう。おさう
 うちの風俗。おさうおとこ。徳元二三人をうけつて。おと
 よあておとあつて。私をけでんはをさう。おとあ
 り。おの娘。おとあ。おの娘。おとあ。おの娘。おとあ。おの娘。おとあ。
 どの事。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。
 らまの。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。
 がら。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。
 ちの。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。
 是と。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。
 治。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。

んじろ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。
 眼。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。
 治。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。
 ち。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。
 ば。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。
 あ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。
 ん。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。
 ん。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。
 ち。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。
 い。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。
 ん。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。おとあ。

